

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	その他	授業の方法	講義演習
科目名	在宅援助論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	2年生教室、在宅実習室
担当教員	戸板 宏一郎	実務経験と その関連資格	看護師として医療機関での臨床経験と看護基礎教育の経験を有する			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>訪問看護では、療養者と家族が生活することを支え、安定した生活を送れるように環境を整えることが重要となる。本科目は在宅療養者への日常生活援助について紙上事例を通して学んでいく。学習は個人ワークとグループワークを取り入れ、アセスメントから訪問看護計画の立案・実施・評価まで行い、在宅看護を展開する上での知識・技術・態度を養う。また、医療依存度の高い療養者が多いことから、在宅で行われる医療処置技術について学ぶ。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>演習(50%) 筆記試験(40%) 出席(10%)</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>在宅看護論(医学書院) 基礎・臨床看護技術(医学書院)</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>基礎技術論や生活援助論の学習、基礎看護学実習、老年看護学実習など、学習した日常生活援助技術を復習しましょう。病院と在宅で行われる援助の違いを意識し、全員が技術を体験できるよう協力してください。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>在宅での生活を具体的にイメージし演習に参加しましょう。在宅で行われる医療は機械・器具の取り扱いだけでなく、生活の場をイメージしたり、心理社会面にも注目しましょう。評価対象の課題は提出期限を守ってください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅看護過程の展開方法が理解できる	テキスト、配布資料	事前学習:国際生活機能分類を復習する 事後学習:紙上事例を読み込む	
		各コマにおける授業予定	1.在宅療養者を支援するためのアセスメントの枠組みを学ぶ 2.情報収集の方法と整理について学ぶ			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	療養者の身体状況が日常生活に及ぼす影響が理解できる	テキスト、配布資料	事前学習:生活環境を整える介護保険サービスを整理する 事後学習:グループ演習をまとめる	
		各コマにおける授業予定	1.脳梗塞の療養者の日常生活を体験する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者の情報をもとに全体像が作成できる	テキスト、配布資料	事前学習:脳梗塞の治療と看護を復習する 事後学習:紙上事例の全体像の作成する	
		各コマにおける授業予定	1.4つの視点にもとづく全体像を作成する			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	訪問看護の基本技術が理解できる	テキスト、配布資料 プロジェクター	事前学習:テキストを読む 事後学習:紙上事例の全体像の提出する	
		各コマにおける授業予定	1.訪問看護師の1日の活動、訪問時の基本的なマナーを学ぶ 2.在宅療養移行期の特徴と看護目標を学ぶ			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者に必要な訪問看護計画が立案できる	テキスト、配布資料	事前学習:全体像の発表がメンバーにできるよう準備する 事後学習:日常生活の看護技術を再学習する	
		各コマにおける授業予定	1.紙上事例の全体像をグループで共有する 2.訪問看護計画をグループで立案する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者に必要な訪問看護計画が立案できる	テキスト、配布資料	事前学習:援助の手順や方法を復習する 事後学習:援助計画の修正・追加
		各コマにおける授業予定	1.グループで立案した援助を体験し、援助計画の修正と追加をする		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者に必要な訪問看護計画が立案できる	訪問看護に必要な物品一式	事前学習:援助の手順や方法を確認する 事後学習:援助計画の修正・追加する
		各コマにおける授業予定	1.グループで立案した援助を体験し、援助計画の修正と追加をする		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者に必要な訪問看護計画が立案できる	訪問看護に必要な物品一式	事前学習:在宅で行う援助方法を確認する 事後学習:援助計画の修正・追加する
		各コマにおける授業予定	1.グループで立案した援助を体験し、援助計画の修正と追加をする		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者に必要な訪問看護計画が立案できる	訪問看護に必要な物品一式	事前学習:在宅で行う援助方法を確認する 事後学習:援助計画の修正・追加する
		各コマにおける授業予定	1.担当する日常生活援助を体験し、援助計画の修正と追加をする		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者に必要な訪問看護が実施できる	訪問看護に必要な物品一式	事前学習:メンバーで役割を決定しておく 事後学習:療養者と家族の言動、援助内容を記録する
		各コマにおける授業予定	1.療養者と家族の反応をとらえながら援助を実施する		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅療養者に実施した訪問看護が評価できる	テキスト、配布資料	事前学習:他のグループが実施した情報を共有する 事後学習:援助記録の作成と提出
		各コマにおける授業予定	1.グループで実施した援助記録の作成と評価を行う		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	療養者と家族の支援状況をもとに長期目標が立案できる	テキスト、配布資料	事前学習:作成した全体像を確認する 事後学習:全体像を提出する
		各コマにおける授業予定	1.療養者の長期目標を立案し、援助の方向を考える		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅における皮膚・排泄ケアが理解できる	テキスト、配布資料	事前学習:消化器系、泌尿器系の解剖整理を復習する 事後学習:授業内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	1.在宅における褥瘡ケア、人工肛門・人工膀胱の観察や援助、経済的支援を学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅における経管栄養(胃瘻・腸瘻栄養法)及び在宅中心静脈栄養法が理解できる	テキスト、配布資料	事前学習:消化器系、循環器系の解剖生理を復習する 事後学習:テキストと授業内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	1.在宅における胃瘻・腸瘻栄養法及び在宅中心静脈栄養法時の観察や援助を学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅酸素療法と在宅人工呼吸療法が理解できる	テキスト、配布資料、プロジェクター	事前学習:呼吸器系の解剖生理を復習する 事後学習:授業内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	1.在宅酸素療法と在宅人工呼吸療法時の災害時の対応や安全管理、利用できる保険とサービスを学ぶ		